



### 返事の日じゃない!? イマドキのホワイトデー事情

30代以上の男女にとって、バレンタインデーは“告白の日”、ホワイトデーはその“返事をする日”というイメージが強いもの。好きな人には本命チョコ、そうでない人には義理チョコ…というのが常識でしたが、最近の若者はちょっと違うようです。そこで今回は、イマドキのホワイトデー事情に迫ってみました。男性だけでなく、女性も必見ですよ。

ホワイトデーの話をする前に、まずはイマドキ女子のバレンタイン傾向を知っておきましょう。バレンタインチョコは本命選びがメイン…の時代は終わり、現在では“友チョコ”が主流となっています。女性同士だけでなく、男性へも友チョコが多く送られるようになり、義理チョコという言葉自体が消えつつあるほど。友チョコはその場で交換することが多いのですが、当日に友チョコを用意していなかったり、改めてお返しをしたい場合はホワイトデーを活用します。では、そのような場合、ホワイトデーには何をを用意したら良いのでしょうか？

若い世代に聞いてみると、友チョコの基本は手作りだと言います。そのため、余裕があれば手作りしてあげると喜ばれるでしょう。作ったチョコも貰ったチョコもSNSへアップする世代ですから、ラッピングなどの見栄えにもこだわりたいですね。

「手作りなんてとんでもない！」という男性の場合は、インスタ映えしそうなスイーツを選びましょう。味やブランドよりも見た目を重視するのがおすすめです。雰囲気の良いカフェや、スイーツバイキングなどへ誘ってお返しも人気があります。

とはいえ、今でももちろん女性から好きな男性に本命チョコを渡して告白するケースもあります。チョコに手紙を添えるのではなく、後からSNSなどを通じて本命であることを伝えるパターンが多いようです。そのため、返事をホワイトデーまで持ち越すことは殆どありません。その場で、もしくは少し時間を置いて返事をするケースが多く、ホワイトデーはそのお礼の日となるでしょう。気持ちをごめてお返しして下さいね♡



### あなたのメールアドレス 流出していませんか? 『Have I been pwned?』

今年1月に、8億近くのメールアドレスと2100万件以上のパスワードという、史上最大規模の情報流出をセキュリティ研究家のトロイ・ハント氏が発見しました。

メールアドレスが流出するとどうなるのでしょうか？ 迷惑メールが増えるのはもちろんのこと、最近ではSNSやクレジットカードや通販なども、ログインIDがメールアドレスになっていることが多いため、不正ログインの危険度が一気に高まってしまいます。頼みの綱のパスワードも、複数のWebサイトで使い回しをしていると、ひとつ流出すれば連鎖的に不正ログインされ、被害が大きくなる可能性があります。パスワードは、使い回しせず、定期的に変更するようにしましょう。

自分のメールアドレスが流出しているかどうかを確認できるWebサイトがあります。それが『Have I been pwned?』です。運営者は、前述のトロイ・ハント氏です。使い方は、下記の通り。

- ① 『Have I been pwned?』のサイトにアクセスする。( <https://haveibeenpwned.com/> )
- ② 画面中央のボックスに自分のメールアドレスを入力し、[pwned?]ボタンをクリックする。(入力したメールアドレスはサーバーに保存されません)
- ③ 流出していなければ、「Good news — no pwnage found!」と表示されます。流出している場合は、「Oh no — pwned!」と表示され、流出元の企業名や、他に流出した可能性のある個人情報の項目も表示されます。

もし、流出してしまっていることが判明したら、直ちにパスワードを変更し、2段階認証の設定を行うなど、セキュリティ対策を見直しましょう。



★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など  
デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!  
オリジナルデザインで更新しやすいホームページを!  
今あるホームページの編集作業もお任せ!!

- ◎ パソコン本体・周辺機器 格安にご提供させて頂きます!
  - ◎ パソコントラブル ご相談下さい!
  - ◎ パソコン教室 無料体験実施中!
- マデコムのFacebook 始めました!! 是非アクセスして下さい!

## 株式会社マデコム

〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1  
TEL : 059-366-0888  
FAX : 059-366-0877  
E-Mail : [office@madecom.co.jp](mailto:office@madecom.co.jp)  
URL : <http://www.madecom.co.jp>  
発行 : 2019年3月1日  
編集・作成 : 早川尚孝

